

市立中央病院特集号

《問合せ先》
西宮市立中央病院
 〒663-8014
 西宮市林田町8-24
 ☎ 0798-64-1515
 FAX.0798-67-4811
<http://www.nishi.or.jp/~byouin/>

経営健全化への取り組み

中央病院では、効率性の高い病院運営を行い、診療機能を充実させることにより、よりよい地域医療を提供することとした「第2次経営健全化計画」に平成18年度から取り組んでいます。その推進状況と平成19年度の取り組み予定をお知らせします。

H18年度		H19年度	
～ 収益 ～			
夜間FAX予約の受付延長	H18.7～	亜急性期病床の設置	H19.4～
内科2次救急の開始	H18.7～	呼吸器センターの設置	
外来化学療法室の設置	H18.9～	糖尿病センターの設置	
消化器センターの設置	H18.10～	病院機能評価の取得	
内視鏡センターの設置	H18.10～	電子カルテ・オーダーリングシステムの導入	
開放型病院の認定取得	H18.10～		
サポートセンターの設置	H18.11～		
～ 費用 ～			
特殊勤務手当の見直し	H18.4～	職員の配置転換による職員数の減員	H19.4～
中央材料滅菌業務の委託化	H18.4～	退職不補充による職員数の減員	H19.4～

また物理的にも充分に対応できなくなりまし
 た。現在は「医療の激変時代」と言われています。その根本原因はまさに医学・医療の進歩であり、

大正10年に開設された本院は90年近くにわたり、西宮市の中核病院としてその役割を果たしてきました。この間に我が国の医学や医療が進歩し、結果として平均寿命は約2倍長くなり、世界一の長寿国となりました。同時に、医療技術の進歩に伴い、最先端の医療を安全かつ簡便に提供することが期待されています。しかし、従来の医療制度や診療体制では患者さんのこのようなニーズに対し、経済的にも



院長 左近 賢人

医療の進歩に伴う患者さんのニーズに対して現在の医療体制や社会制度が対応できないことになってきます。本院では患者さんの信頼を第一と考へ、「高度な医療を優しく、確実に」を基本コンセプトとして診療機能の重点化を図っています。平成18年度には、効率的な診療を行うために「内視鏡センター」、「消化器センター」、「外来化学療法室」、「サポートセンター」などが発足し、着実に成果をあげていま

す。特に内視鏡センターでは拡大内視鏡の導入により、早期診断を行い、がんでも手術せずに内視鏡的切除を行っています。内視鏡的に切除ができない場合でも腹腔鏡下手術により、痛みの少ない手術に努めています。ソフト面では「低侵襲手術治療チーム」、「緩和チーム」、「栄養サポートチーム」が多職種のコラボレーションのもとにチーム医療を行っています。

また物理的にも充分に対応できなくなりまし
 た。現在は「医療の激変時代」と言われています。その根本原因はまさに医学・医療の進歩であり、

今年度は「呼吸器センター」や「糖尿病センター」が発足します。さらに、全体的なサビの改善を目指して電子カルテの導入を行う予定です。電子カルテにより、待ち時間の短縮や検査予約の簡略化などが可能となり、患者さんへのサービス向上が期待されます。しかし、導入に際してはトラブルも発生しやすいこと

病気に罹った患者さんの気持ちには完全になりきれません。心の痛みも含め、いわゆる「痛み」はご本人しか自覚できません。それ故、家族や医療スタッフがそれに気づくよう、常に謙虚な姿勢で患者さんに注意を払うことが大切です。

かかりつけ医をもちましょう ～病診連携システムについて～

当院では、地域の医療機関との連携を行い、診療機能の分担を進めています。初期治療や慢性疾患の継続診療は、診療所の医師（かかりつけ医）が行ない、専門的な検査や入院が必要な治療は病院が行うという、それぞれの長を生かした分担により、医療の質の向上を目指しています。このような病院と診療所の連携を病診連携と呼んでいます。

病気かな？と思われたら、まずは地域の身近な医療機関である診療所の先生に診ていただくことをお勧めします。診療所での診察の結果、精密検査や入院が必要と判断されれば、適切な病院を紹介していただけます。普段から何でも相談できるかかりつけ医をもちましょう。

症状が安定されて、地域の医療機関での継続診療を受けられる患者さんのために、当院では1階正面受付横にサポートセンターを設置しています。診療科・診療時間等を記載した近隣医療機関の案内リーフレットを作成し、ご自由にお持ち帰りいただけるようにしています。

なお、サポートセンターでは近くの医療機関のご紹介のほか、療養に関する相談なども受付しています。

また、当院は平成18年10月より、開放型病床（5床）の認可を得ており、地域の先生方との共同診療も可能になっています。

今後も地域の医療機関との連携で、一貫した継続医療を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



1階 サポートセンター

中央病院の救急医療体制

内科2次救急診療について

中央病院では、昨年平成18年7月18日（火）から、祝日を除く毎週月曜日・火曜日・水曜日の午後6時00分から午後9時00分まで、内科2次救急診療をはじめます。

診療所の医師は、中央病院へ紹介される際に、患者さんに紹介状を手渡されます。ご来院の際には、必ず診療所の医師の紹介状をご持参ください。

地域の救急医療を支える

中央病院では、急な発熱、ケガなどの夜間の救急医療ニーズに応えるため、輪番制による救急医療体制を整えています。

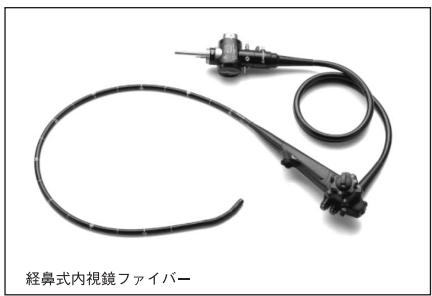
- 2次救急診療とは、主に第1次救急診療（比較的軽症な患者）を担当する医療機関や診療所から転送される入院・手術などの必要な救急患者を対象としています。
- 「受入れの対象となる患者さん」
- 「地域の開業医からの紹介患者」
- 「救急車による搬送患者」

を整備しています。外科領域についても、外科・整形外科の2名体制で、救急を担当しています。外科1次救急は、軽度な外傷の治療を行う診療で、紹介状等がなくても来院いただけます。なお、小児科医師の減員により、平成19年4月以降の金曜日の小児救急を休止しております。患者さんには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承いただけますようお願い申し上げます。また、西宮市の救急医療体制全般については、「西宮市保健所」のホームページでご確認ください。

中央病院の救急体制

区分	月曜日	火曜日	水曜日	金曜日
小児科2次救急	18:00～翌朝7:00	18:00～翌朝7:00		
外科1次救急	18:00～翌朝8:00			18:00～翌朝8:00
外科2次救急				18:00～翌朝8:00
内科2次救急	18:00～21:00	18:00～21:00	18:00～21:00	18:00～翌朝8:00

【好評の内視鏡センター】
西宮市立中央病院では、より安全で苦痛のない消化器内視鏡検査・治療をめざして、また患者様の不安感をできるかぎり取り除くよう配慮することを目的として、昨年10月に内視鏡センターがオープンし、検査や治療を受けられた患者さんから大変ご好評を得ております。



経鼻式内視鏡ファイバー
写真提供：オリンパスメディカルシステムズ株式会社

【消化器疾患に強みの内視鏡】
内視鏡センターで取り扱う検査の主な内容は上部消化管内視鏡検査（いわゆる胃カメラのこと）、と下部消化管内視鏡検査（大腸ファイバー）で、これらの内視鏡を使った検査や治療の多くはこの内視鏡センターで行います。近年、消化管検査と治療における技術の向上、および内視鏡機器の発達には目をみ張るものがあります。

【内視鏡センターの「コンセプト」】
「患者様の視点」を重視した、「優しい、安全、清潔」をモットーに、最先端の高度医療を提供することに重点をおいています。内視鏡室は、いろいろなニーズに合わせるために、患者さん、術者、介助者の動線を考慮した機能的で安全な内視鏡室となっています。経鼻内視鏡や、苦痛のない静脈麻酔下の内視鏡処置も可能です。

【最新の拡大内視鏡と経鼻内視鏡】
「経鼻内視鏡」の導入により、胃カメラが苦手な方でも楽に検査が受けいただけます。今までに胃カメラの検査を受けられなかった方は、嘔吐反射の「オーエー」を経験された方も多いと思います。これは舌の付け根に舌根という場所があり、ここにカメラが触れ咽頭反射が起こるための現象です。経鼻内視鏡ではこの違和感がほとんどありません。そのため検査中、患者さんとの会話が可能であり、咽頭反射の強い方には朗報です。

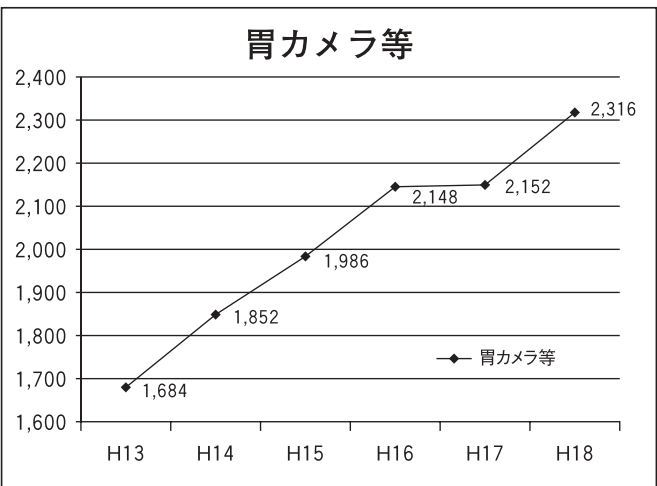
「好評の消化器内視鏡センター」

【早期がんは内視鏡で切除】
当院では、上部消化管内視鏡

期のがんについては、内視鏡を用いた粘膜切除や粘膜の下にある層を剥離する術式により、治療できます。

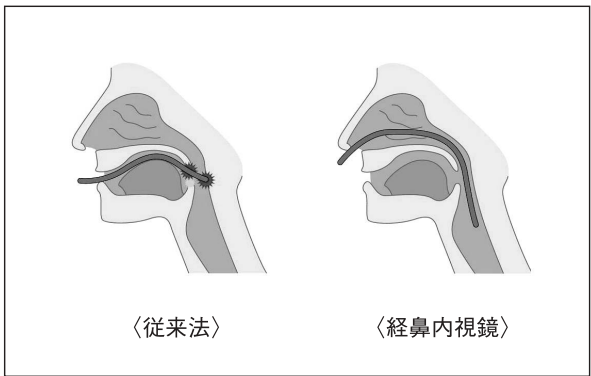
【消化器センターとの連携体制】
内視鏡では切除できないと判断された消化器がんに対しては、当院外科の低侵襲手術チームにより、腹腔鏡下胃切除や大腸切除等痛みの少ない低侵襲治療が積極的に行われています。

早期発見、病変の悪性度や範囲診断などがより正確に行われるようになりました。



また、消化管からの出血についても、内視鏡を用いて止血することが可能です。他にも、内視鏡的乳頭切開による総胆管結石の治療など、患者さんへより質の高い医療を提供

断された消化器がんに対しては、当院外科の低侵襲手術チームにより、腹腔鏡下胃切除や大腸切除等痛みの少ない低侵襲治療が積極的に行われています。検査や手術後は、消化器センターへご入院いただき、消化器内科と消化器外科の専門医によるチーム医療を提供しています。今後も急性期病院・地域支援型病院として、地域に開かれた成長するセンターを目指してスタッフ一同取り組んでゆく所存です。治療はもちろん



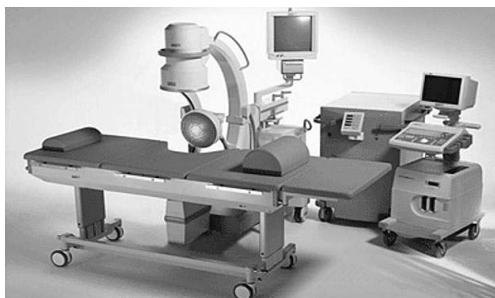
写真提供：オリンパスメディカルシステムズ株式会社

前立腺肥大・尿路結石の治療最前線

前立腺肥大の最新手術 ホルミウムレーザー装置導入

当院では、平成17年2月よりホルミウムレーザーによる前立腺肥大手術を行ってきました。尿管間ではまた3施設のみでしか行われておりませんし、近畿でも施設数が限られており、大阪府などの他府県からの患者さんも来院されます。この手術はこれまで合併症として尿失禁（お腹に力を入れると尿が漏れてしまう状態）があり、普及しませんでした。しかしながら、当院ではこれまで手技改良をつけ、尿失禁を予防できる方法を確立しました。今後この手術は標準的な手術法になるものと期待されます。

これを機会に西宮市民の皆様にも、最新の前立腺肥大手術



体外衝撃波結石破碎装置写真提供：利康商事株式会社

結石治療に最新機器

また、本年4月には最新のドイツ・リチャード・ワルフ社製体外結石破碎装置 Precolith 3000 が導入されました。治療の際には麻酔の必要が無く、外来通院による治療が可能です。

結石による痛みは、一刻も早く解決したいものですが、当院泌尿器科では、即日治療をモットーに、できるかぎり、痛いの日に治療を行っています。どうぞ、お気軽にご相談下さい。万一、体外結石破碎治療でも割れない硬い結石がある場合でも、当院ではホルミウムレーザーを用いた内視鏡下の結石破碎術により治療できます。

人間ドックのすすめ

年に一度は、健康チェックを！

日本人の死因の約3分の1は心筋梗塞や脳血管障害など動脈硬化を起因とする病気が占めています。そして、その大きな原因は、生活習慣病です。生活習慣病には、「肥満症」「高血圧症」「糖尿病」「高脂血症」などがあげられます。そしてそれらを重複して発症する恐れがある状態を、「メタボリックシンドローム」と言い、動脈硬化のリスクが高くなります。このような状態を防ぐためにも、まずは自分自身の体の状態を知っておくことが重要です。

定期的な人間ドックや健康診断は、病気を早期に発見するためだけでなく、過去の検査結果と比較することにより、生活習慣の改善を図ることが可能です。

そしてそれは、病気を未然に防ぐ有効な手段の一つなのです。

休養を兼ねた1泊2日ドック

西宮市立中央病院では、1泊2日ドックを実施しております。宿泊は近郊のホテルを利用し、夕食は和食・洋食・鉄板焼の3つのメニューを用意しホテル内のレストランにて、お好みに合わせた食事を召し上がっていただけます。健康のチェックをしていただくとともに、日々の仕事や家事に疲れた体を休めてみてはいかがでしょうか。また、メタボリックシンドロームの検査の一つとして、話題になっている内臓脂肪検査も、1泊2日ドックのオプションとして実施しております。各種半日ドックも行っております。

半日ドックメニュー		
コース	曜日	金額
半日一般ドック	月曜日	42,000円
半日一般脳付ドック	月曜日	68,250円
半日脳ドック	金曜日	44,110円
半日肺ドック	水曜日	37,800円

1泊2日ドックメニュー	
コース	金額
1泊2日ドック	84,000円
1泊2日ドック（脳付き）	112,350円
1泊2日ドック（肺付き）	103,950円
1泊2日ドック（脳・肺付き）	132,300円

※いずれも火～水曜日、木～金曜日の実施

オプションメニュー	
コース	金額
内臓脂肪検査	5,000円
歯科口腔疾患検査	7,350円
マンモグラフィー検査	2,835円
骨密度検査	1,260円
肺がん腫瘍マーカー	3,780円
婦人科系腫瘍マーカー	1,260円

※コースや曜日により選択できないものがあります。

人間ドックに関する予約・問合せ
西宮市立中央病院健康管理センター
電話：0798(64)1515 平日：午前8時30分～午後4時30分まで